

# 社 友 会 だ よ り

## 第 49 号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19

〒233-0006 大和田輝彦 内

編集者 濱田 治

### 飛騨下呂温泉に集う 中部支部

平成28年5月21日 素晴らしい晴天に恵まれ首都圏から濱田さんの参加を頂き13名飛騨下呂温泉に集う。

全員が揃ったところで今回も例年どおり支部総会を開催する。

まず、支部長から本部における定期総会の模様及び今後の社友会の方策について話があった。



続いて奥田事務局長より平成27年度の活動報告、支部会計報告並びに平成28年度の活動計画、予算案の説明があり、全会一致で承認されました。

例年は、本番前には皆さん方から持ち寄ったビール、お酒、つまみで宴会が始まっておりましたが、折角の1泊2日バイキング&飲み放題の企画なので今回は本番前の飲酒はのどを濡らす程度に自粛しました。

支部長の乾杯の音頭で開宴。しばらくは飲む、食べるほうに懸命でお酒がまわったところで近況報告、健康、孫の話に弾む。いつしか所定の時間が到来1次会はお開きとなり、世話役の部屋になだれ込み2次会が始まった。



食べるほうに懸命でお酒がまわったところで近況報告、健康、孫の話に弾む。いつしか所定の時間が到来1次会はお開きとなり、世話役の部屋になだれ込み2次会が始まった。

SQ時代の話が弾み特に、アンテナの取り付け場所がレーダーマストのヤードの先端に取り付ける人

がいて取り外しに危険を冒して取り外したこと、又、SETの上にINVを担ぎ通船から本船のタラップに乗り移り担いだままブリッジ迄運搬したこと等よくやったなあ。

だんだん夜も更け一人ひとりと減っていく中、午前1時近くまで話し込んだ豪傑がいた。

翌朝、玄関前で記念写真をし、11月末の「センツウ同窓の集い」に元気で再会を誓い散会する。

一部のグループは当初より計画があつて郡上八幡まで足をのばし鍾乳洞と郡上八幡の町並みを散策しました。



レポーター 本田 太作さん

### 28 年度春季ゴルフコンペ開催

#### 菅原志郎さん優勝

平成28年5月18日(水)恒例のセンツウ社友会春季ゴルフコンペが、クリアビューゴルフクラブに於いて開催されました。

当日は、前日に降り続いていた雨も上がり五月晴れの絶好のゴルフ日和となり気持ちよくプレーすることができました。

今回は、初めて参加された佐野勉さんを含め3組10名のコンペとなりましたが、全員元気よく熱戦が繰り広げられました。

そんな中、第3組でスタートした菅原志郎さんが日頃の実力を遺憾なく発揮し優勝、入賞常連組の山形剛士さんが準優勝、阿部正一さんがベスグロを獲得しました。

参加された方々と入賞された方は次の通りです。

#### 「参加者(スタート順・敬称略)」

1組・・・阿部正一・山形剛志・黒田繁雄・園田敏雄

2組・・・沖本良平・加藤恒男・足助正

3組・・・佐野勉・濱田 治・菅原志郎

#### 「入賞された方(敬称略)」

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット・その他
優勝	菅原志郎	98	23	75
二位	山形剛士	92	15	77
三位	阿部正一	88	9	79 BG

#### 「優勝された菅原志郎さんの喜びの声」

今回は、天候・ハンディ・同伴メンバーに恵まれて優勝してしまいました。

特に同伴者で、いつもコンペ開催にご苦勞されております濱田さんとコンペ初参加の佐野勉さんという事でリラックスした中にも少し緊張してプレー出来たのが良かったのか、今までにない寄せワンが7回とスコアをまとめられたのが勝因かと思われま

す。メンバーに感謝・感謝です！！

昨今は、気力・体力ともに衰えてきましたが、出来るだけゴルフを続けていきたいと思



レポーター 濱田治さん

## “虹の涙” 自治会活動回顧録(最終回)

中部支部 本田 太作さん

### 《虹の涙》

#### 3. 定期総会が紛糾

平成15年度(平成16年3月13日)に開催した定期総会は地区運動会後の懇親会開催の有無について、入れ替わり立ち代わりこの件についての発言があり総会は紛糾した。

主たる発言内容は

- ①毎年この時期に皆さんと共に和やかに懇親会を開いて親交を深めてきた。
- ②文句あるなら自分たちも出席すればよいではないか。
- ③平素は、コミュニケーションが図れないのでこの機会を楽しみにしている。
- ④中止した理由を聞きたい。

要は、慣行でいい目をしてきたことが無くなることへの不満の爆発であり自分達の楽しみを守ろうとして必死で迫ってくる。

これらの発言に対して

慰勞会は中止したわけではなく、費用について上限を決めたことで、これらの発言について、当初、スポーツ委員会のメンツを立て抽象的に説明してきたが、そこまで言い張るなら実情を説明せざるを得ない。

全額、自治会からの費用では真の親交は図れない。その時だけで酔いが醒めれば元の木阿弥でなにも残らないのではないか。

酒席で得た友情は、酒が醒めたときに失うというのではないか。

ましてや2次会、3次会と繰り出し、挙句の果てタクシー代まで費用は全額自治会から支出しているのでは到底説明ができない。

僅かでも出し合ってこそ真の親交が図れるのではないか。

具体的に数字を示し、今までどれだけ自由に浪費してきたことかと、出席者の皆様に説明する。

ところが、「郷に入れば郷に従え」と非難めいたヤジまで飛び出す。

ここで、一人のご婦人が立ち上がり、話を聞いてりゃお前たちの方が間違がとる。なんなら 20 ~ 30 人引き連れて自治会を脱会すると強い勇気のある発言があった。

この発言あったことから、どことなく「そうだ」「そうだ」の声が上がって空気は一変しこの件は1件落ち着いた。

通常は1時間30分程度で終了するが**3時間40分亘ったことに一人涙した。**

(余談であるが、その後このご婦人さんとは家族付き合いをしていたが、2年後にガンで亡くなった)

4. 理性的な言葉より感情的な言葉と共に、それに共感するほんの一部の人たちから陰湿な形でやってくる。

**封書で切手を貼付し送りつけて反論する。**(勿論差出人は不詳)

これは、夏休み前に、親御さんあてに出した団地内には見通しの悪い小さい交差点が多く「飛び出し注意」をお子さんに教育して下さいとの回覧文書に対する反論であった。

素早い封書で反論の内容は、「平素から子供に対する躾けは行っているのだから自治会から指示されるのは心外である」であった。

5. 所属(第3分団第3部)消防団との直接対話

私たちは税金を支払い応分のサービスを受けております。消防団に限らず半強制的に自治会を通じて助成金を支払い、その上「団員を出してほしい」と要請されております。団員の確保は多くの場合現職消防団が各戸を訪問し入団を依頼するのが筋ではないでしょうか。

今日まで抽選で無理やり消防団に派遣してきましたが、訓練に対して出席が悪いので、**交代の**

**人を出してほしいと一方的に一通の文書で要請されております。**

厳しい現在の社会情勢の変化、すなわち労働環境、家庭環境の状況を本当に認識されているのでしょうか。

厳しい労働環境の中で企業、職種によっては土曜日、日曜日、祭日と休みとは限らないし、ましてや残業で常に遅い帰宅現況にあります。

貴方たちの職業は？ 勤務地はどこですか。自由業、自営業、農業、公務員ではないのでしょうか。

以上が自治会の意見であり

これに対して第3分団第3部から

交代の件については、今後は自治会に訪問し直接役員に面接しお願をすることにします。

多くの団員は、負のイメージに不安を抱きながら入団しますが、「地域に知り合いができた」、「普段生活にない貴重な体験ができた」等自分の人生にプラスになる貴重な経験をすることができます。

ほぼ、市内で仕事を持っている方が多いが、一生懸命訓練等に参加し、災害が発生した場合、全員が出勤できるとは限りません。団員であってもそれぞれが仕事を持ち、仕事をほっとからして出勤することはありません。

**双方ともそれぞれの立場での意見に終始し、時間切れで後味の悪い結果となった。**

<あとがき>

・自分の体験について作為を加えずありのまま記述したが、中には表現力のなさ、自分の能力が浅く弱さを深く自覚しながら、自分なりにいろいろと資料と記憶をたどりながら記述したつもりです。

・何でもかんでも思うどおりになっていくことに、知らず知らずのうちに達成観に浸っていたかもしれません。

・一部の会員からの不平、不満があったが、古い体質の打破、悪習慣を断ち切らなければ禍根を残す「**会計制度の仕組みの見直し**」は、絶対に

譲れない執念で老いの一徹だったかも知れませんが、(守旧派との闘い?でもあったが、歯止めがかかったことに満足しています)

・今までの役員さんは、この悪い習慣を承知していながら、できなかったことは分かるような気がする。

・何処かの田舎の国会議員の後援会ではないが、よってたかって食いものにする古い体質と同じ。

・感じたことは、直接自分自身の利害関係があれば激しくせに「笛を吹いても踊らず」「楽屋で騒いで表舞台に出てこない」。

・充実感と失望感・深い無力感とが交差し広く情勢を見る大切な点及び自治会活動の限界を悟る。

・この投稿により、保存していた資料、日誌、組長会議の議事録の写し、周知文の写し並びに定期総会の議案書は廃棄処分することに決めました。

(老活の初年度とする)

\*\*本田さん、長期間にわたる連載、誠にありがとうございました\*\*

## 音楽ボランティア活動

### 阪神支部 上中 健さん

私もリタイアして早くも6年を経過しています。毎年健康が続いているので、年間100回以上の出演をしてきました。私たちのボランティア活動のモットウは、「参加されている皆様の顔が真っ赤になるほど声を出して全身を使って楽しんでほしい」とお話しをしています。

音楽ボランティア活動については、以前にレポートしていますが、たまにはチームのメンバーそれぞれボーカルを楽しむライブを実施や、先週の(4月17日)では、メンバーのフラダンスの方が、フラ仲間と企画したライブ喫茶店でのフラダンス

に協力を求められて、ウクレレ演奏とボーカルを楽しんできました。他のフラダンスチーム2組ではCD演奏でフラダンスをしていましたが、私たちは、ウクレレ1本での生演奏でフラダンスをしたので、お客様からすごい拍手をいただけました。その時の写真を見ていただければいいかなとこのレポートを作成しました。



もう一つのレポートは、私も民生委員と老人クラブ会長もしていることから、母校の小学校の卒業式と入学式に来賓として出席要請を受け、特に卒業式では、6年生一人一人が壇上で自分の将来の夢を具体的に発表し、5年生へ下級生の指導を求めて、それに対して5年生からは力強い宣言がありました、この子どもたちの未来が明るく広がるように感じて、素晴らしい教育が進んでいるようでした。また、4月は、民生委員や老人クラブ等の総会が続いてあり、増々地域とのつながりで、ほぼ毎日いろんな方々とふれあい、励まし合って、楽しい人生かなと思ひ、何よりも夕方のお酒がたまらなく美味しく幸せに感じます。

### \* センツウ社友会第1回役員会開催 \*

開催日：平成28年4月9日(土) 14:30~15:20

場所：シーサイドホテル 喫茶室

出席者：11名(本田、金重、大場、菅原、崎山、松原、浜田、平野、鏡、中野、大和田の各役員)

#### 1. 議題・議事

(1)平成28年度役員会開催と活動計画について  
平成28年度役員会開催と活動計画は了承された。

(2)社友会の今後の在り方について  
本田会長から提案があった「社友会今後の考察」については、今後の社友会の在り方を検討していく課題ととらえ、組織の変更を含めて継続して審議していくこととした。